

# 東京歴教協・授業実践交流会

2023年 6月25日(日)15:00~17:00

どなたでも参加できます。

6月21日(水)までに、以下のURL、またはQRコードで申し込みください。

<https://forms.gle/FpFS3M41qEEKzEGaA>

申し込みの際には、参加希望の分散会(下記)を  
1つご記入ください。



## (A分散会)

池本恭代(中学)「『3年間の振り返り』から公民の授業プランを検討する」

石戸谷浩美(中学)「中2『学習の振り返り』で主権者意識を育てる」

## (B分散会)

高野晃多(高校)「歴史探究ゼミでの年間実践～探究科目実施を視野に」

丸小野壮太(高校)「高大連携と市民協働型の歴史実践から考える歴史教育」

## (C分散会)

矢口正樹(高校)「『書』芸術の鑑賞を通じて戦争について考える」

日達 綾(高校)「デジタル社会での民主主義」



14時から東京歴教協総会を開催します。参加は会員のみです。

## 東京都歴史教育者協議会

連絡先 東海林(とうかいりん) 080-1130-9326



# 報告要旨

## ◆A分散会

### 池本恭代（中学） 「3年間の振り返り」から公民の授業プランを検討する

卒業を前に「3年間の社会科の振り返り」を行った。生徒がどんな授業でどんな力を身につけたのか、どんな社会を作りたいと考えているのかなどを分析し、自分自身の授業プランを振り返る。また、公民を中心に生徒の心に残った授業内容を示し、それぞれの参加者はどんな授業を展開しているかを交流したい。

### 石戸谷浩美（中学） 「中2『学習の振り返り』で主権者意識を育てる」

単元の終わりや定期テストの前後に書かせる「学習の振り返り」を、たんなる感想にとどまらず、政治や社会問題に「自分ごと」として向き合わせる機会として、少し踏み込んだ問いを立てるようにしてみた。中2の地理や歴史の「振り返り」での問いと生徒の記述から、改めて授業内容を見つめ直し、主権者意識を育てる可能性を考えてみたい。

## ◆B分散会

### 丸小野壮太（高校） 「高大連携と市民協働型の歴史実践から考える歴史教育」

昨年度から報告者が進めている高校生・高校教員・大学教員の共同研究です。①高校と大学の授業実践、②博物館の講演会・ワークショップ、③研究会の報告、に注目しながら、お話しします。歴史教育における「歴史学と歴史教育の対話」の重要性を問題提起できればと考えています。

### 高野晃多（高校） 「歴史探究ゼミでの年間実践～探究科目実施を視野に～」

2022年度に実施した歴史探究ゼミの実践報告です。年間カリキュラムや生徒の課題研究論文などの成果物を紹介しながら、2023年度から実施される日本史探究や世界史探究をどのように指導していけばよいのかについても考察していきたいです。

## ◆C分散会

### 日達 綾（高校） 「デジタル社会での民主主義」

急速にすすむデジタル化。勤務校は、ICT利活用授業研究推進校だ。校内で起こる生徒間の問題のほとんどは、SNSをめぐる人間関係のトラブル。アメリカやブラジルでの陰謀論のよりの議会襲撃は、SNSが大きな役割を果たしていると言われている。私たちの幸せを実現するためのデジタル化について、子どもたちと考えたい。

### 矢口正樹（高校） 「『書』芸術の鑑賞を通じて戦争について考える」

井上有一の「噫横川国民学校」の鑑賞を通じて、戦争について考える。写真や映像などの客観的事実を捉えたものに主題を置くのではなく、「書」芸術という個人の思いに触れて戦争とは何かを考えさせたい。これらを念頭に入れ、日本の戦争中の被害と加害の側面、東京大空襲により、一般市民が空前の戦禍を被ったことを理解する。